

(様式例)

令和3年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

昨年度同様、2・3学年の学力調査では高い数値を残している。立式やその後の計算の仕方、より細かく丁寧に指導し、なぜそうなるかを理解できるような説明や、納得しやすい例題を提示しながら授業を展開した。また、数学への興味を持たせたうえで、基礎・基本の理解と定着に重点をおき、それを使って応用的な問題ができる力、基礎的・汎用的能力を育てることができた。

(2) 課題

基礎力が定着していない生徒に対してのフォローが必要であると感じる。そこで、習熟度別による少人数指導を取り入れ、支援の必要な生徒の個別指導を行っていく。また、基礎的な内容を理解している生徒に対しては、既習事項を確認しながら、新たな学習内容の定着も図っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも下回っている。		
第2学年	区の標準スコアよりも上回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	区の標準スコアよりも上回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第2学年時)	区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より、校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が下回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。

--	--	--	--

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区の目標値より，校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より，校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より，校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より，校内平均正答率が上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。